

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1 6 7 8 21 36	利用者様中心のケアは謳われており、意識の高い職員により実践されているが、個々において差があるため、グループホームで行う支援、権利擁護、認知症ケアに対する知識と意識の向上が必要である。組織としてまとまればより良いチームワークで支援して行くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の職員への教育と全体の底上げ。 ・グループホームにおける認知症ケアの実践について、定期的な勉強会の実施。 ・情報の共有と透明化。後ろ向きな発言は控える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅職員による勉強会の開催を通して、経験の浅い職員の指導や自身の振り返りを行う。 ・些細な情報でもスタッフノートや申し送りを行い、情報の共有と透明化を図る。また適宜管理者による面談を行い現状を把握する。 	12ヶ月
2	34 35	新規職員の入職や入居者様の入退去、ADLの変化により、防災訓練の定期化が必要である。前年度の目標にもあったが、消火器を使った消火訓練が必要である。また、通報訓練も並行して行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ月に1度の避難訓練の実施と通報訓練。そのうち2回は夜間想定で行う。 ・消火器を使用した消火訓練を年2回実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・奇数月に避難・通報訓練を実施し、そのうち2回の夜間想定での訓練を行う。 ・消防団の方に協力を依頼し、消火器の使用訓練を行う。 	12ヶ月
3	23 25 26 27	グループホームにおけるケアプランの有り方について議論がなされ、必要性についても話が及んだため、ケアプランの有用性についての理解と意義を考える必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランの理解とプランを活用した支援内容の向上。 ・計画作成者を中心とした情報の共有とプランへの反映。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成者を中心としたミーティングの定期開催とモニタリングシートを活用した情報収集。 ・ケアプランを活用した教育・指導の実施。 	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。